

# 佐久地域のカラマツ林業の成り立ち

## 苗木生産

苗木の生産量は昭和38年から45年まで、年平均4,300万本程度生産されてきました。

(平成26年度 1万2千本)



苗木畑（川上村）S40 頃

## 植林作業

植林のピークは昭和28年の2,645haで、植林されていた樹種の80%がカラマツでした。

(平成26年度カラマツ植栽実績18ha)



全国植樹祭 S39.5

テーマ「入会林野の造林推進」

## 全国植樹祭の開催

第18回東京オリンピックが開催された昭和39年5月13日、昭和天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り、長野県茅野市八子ヶ峰において開催しました。

平成28年6月5日には、52年ぶりに「森林を活かし 森林に生かされる 私たちの豊かな暮らし」をテーマとして開催します。この機会にさらに森林を守り育てていくことの大切さを、多くの皆様に伝えていきます。

## おわりに

これまでの長い年月、先人のたゆまぬ熱意と努力があって、現在の成熟したカラマツ林があります。歴史を重ね現在あるカラマツ林を財産として有効活用しながら、主伐後は確実に更新し、後世に引き継いでいく責任があります。

カラマツ材利用が低迷していた時代は、乾燥など加工技術の向上や用途の開発などにより、過ぎ去りました。様々な用途に必要なとされるカラマツ材となった今、さらに付加価値を高めながら、将来のカラマツ林業へつなげていきたい思いです。

## 【編集・発行】 長野県佐久地方事務所林務課

〒385-8533 佐久市跡部65-1 長野県佐久合同庁舎内 電話 0267-63-3154 ファクシ 0267-63-3195  
HPアドレス <http://www.pref.nagano.lg.jp/xtihou/saku/> e-mail [sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp](mailto:sakuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp)